

## ☆パワーユニット交換要領【三輪製(下開きユニット) ⇒ 永興製】

1. ウイングを全閉して下さい。(左右共)
2. キャブ内のメインスイッチをOFFにして下さい。
3. バッテリーターミナルの(-)端子を外して下さい。
4. 現車のパワーユニットを取り外して下さい。油圧配管を外す際、配管に番号等の記しを付けるとわかり易いです。
5. 新規にパワーユニットを下記手順にて取付して下さい。

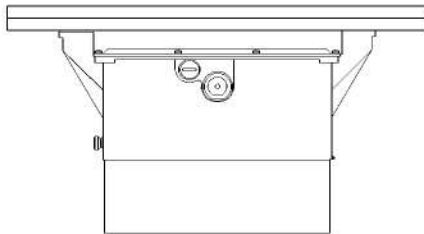


図1 現車:三輪精機製ユニット  
(カバー下開き式)

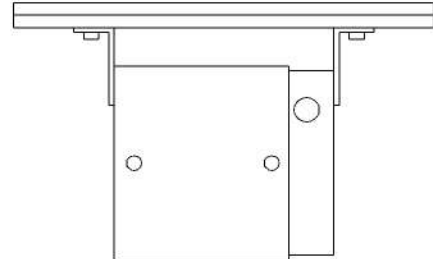


図2 新規:永興電機製ユニット

- ①旧ユニット(三輪精機製)の油圧配管取り外し時  
番号(又は印)貼り付け

※右図の記号(アルファベット)は、取説等の配線図内の記号  
とは関係ありません。

(必要工具)

- ・スパナ 19<sup>mm</sup>

【注意】油圧配管の口金具を緩める際、ゆっくり緩め、  
少しづつ圧を抜きながら緩めて下さい。

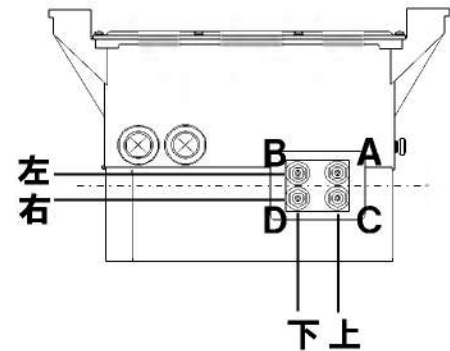


図3 左側面に配管接続(三輪製)

- ②新規ユニット搭載後、①で取り外した配管を  
番号(アルファベット)位置に取付して下さい。

※右図の記号(アルファベット)は、取説等の配線図内の記号  
とは関係ありません。

【注意】現車に搭載のユニットによっては、配管側の口金具  
がオスの場合があります。  
ユニット側のポートはオスの金具ですので、新規に  
メスタイプの口金具に交換するか、メス×メスのジョ  
イントにて取付して下さい。

- ・メスタイプ口金具



- ・メス×メス  
ジョイントタイプ

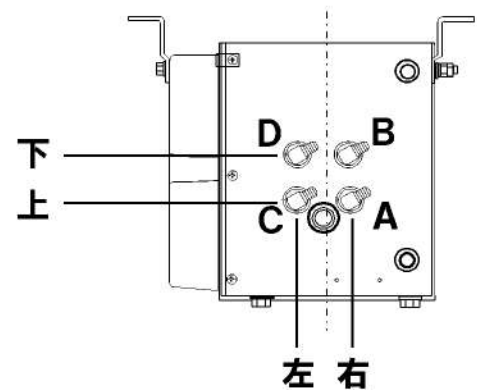
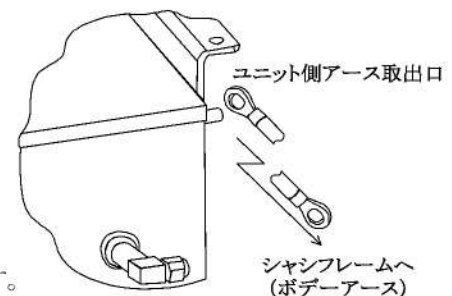


図4 背面に配管接続(永興製)

- ③新規にユニット(永興製)へ交換した場合は、必ずユニットから  
シャシフレームへアース線を取って下さい。

【注意】日興製ユニットには、アース線を取らず、ユニット取付け  
ブラケットにてボデーアースしている車輛もあります。  
その場合は、新規にアース線を取り直して下さい。

※アースされていないと、ウイングが動かない、遅い等の不良が生じます。



④下記表を参照に、操作スイッチの配線を施工後、キャブ側電源の配線を施工して下さい。

【注意】配線を組む際、配線に防水栓をはめてからコネクタに挿入して下さい。

※ユニット側の8極コネクタ（オス）

1	左下げ	白線
2	左(+)	茶線
3	左上げ	黒線
4	キャブ側電源	緑線
5	右下げ	赤線
6	右(+)	青線
7	右上げ	黄線

ユニット側8極コネクタ（オス）

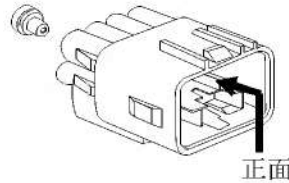


図5 コネクタ正面から見た状態

④-1操作スイッチ側の8極コネクタ（メス）

1	左下げ	青線	旧ユニット のコネクタ 白
2	左(+)	赤線	
3	左上げ	白線	
4	キャブ側電源	若葉線	ギボシ
5	右下げ	青線	旧ユニット のコネクタ
6	右(+)	赤線	
7	右上げ	白線	青

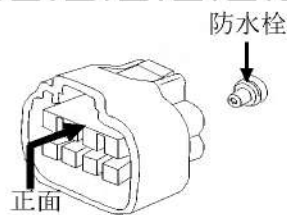


図6 コネクタ正面から見た状態

【注意】配線をコネクタに接続させる際、防水栓は必ず施工すること！！

防水栓を必ず奥まで押し込んで下さい。防水栓が押し込みきれないと、コネクタ内に水が浸入し、腐食により導通不良が発生します。8ヶ所共防水栓を施工してください。

（1部、配線が無いヶ所にはメクラの防水栓をはめ込んで下さい。）

④-2配線保護チューブにシーリング処置

8極コネクタに操作スイッチ側の配線を施工したら、配線保護チューブと配線の隙間にシーリングして下さい。

8極コネクタ側



6. ユニット内のアルミオイルタンク内に、作動油を流しいれて下さい。作動油の目安：約3ℓ

7. 取り外し手順の3. を取り付け、2. の電源を入れて下さい。

8. ウイングを何回か作動させてください。（左右共）

9. ウイングを何回か作動させると、ユニットオイルタンク内のオイル量が減ります。確認しレベルを合わせて下さい。

10. 全体点検して下さい。（バッテリーターミナルやユニットアース、ユニット取付ボルト等の緩み他・・・etc）

以上